

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

平成23年度調査	電話支援対象者数	1,401人	(回答者の15.0%)
平成24年度調査	電話支援対象者数	1,104人	(回答者の15.4%)
平成25年度調査	電話支援対象者数	1,101人	(回答者の15.2%)
平成26年度調査	電話支援対象者数	830人	(回答者の11.6%)

【電話による相談内容】

お電話での主な相談内容は年度と共に変わってきています

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
放射線の心配や影響に関すること 29.2%	母親のこころや身体の健康に関すること 33.4%	母親のこころや身体の健康に関すること 42.5%	母親のこころや身体の健康に関すること 49.5%
母親のこころや身体の健康に関すること 20.2%	子育て関連（離乳食、夜泣き、便秘、予防接種等）のこと 26.7%	子育て関連（離乳食、夜泣き、便秘、予防接種等）のこと 38.7%	子育て関連（離乳食、夜泣き、便秘、予防接種等）のこと 36.1%
子育て関連（離乳食、夜泣き、便秘、予防接種等）のこと 14.0%	放射線の心配や影響に関すること 23.7%	子供のこころや身体の健康に関すること 20.3%	家庭生活に関すること 20.5%

第13、18、22回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

毎年度、1,000名近くの方へ電話支援を行っています。

震災後には放射線の心配や影響についての相談が最も多くありましたが、それらの割合は時間の経過と共に徐々に低下しています。平成24年度以降、徐々に母親のこころや身体の健康に関すること、子育て関連等の割合が増え、上位を占めるようになってきました。

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成28年3月31日